

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	我孫子市子ども発達センターひまわり園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和7年1月29日		～ 令和7年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	きめ細やかな支援を行うための職員配置	きめ細やかな支援を行うため、子ども3人に対し職員1人の配置をし、活動や目的に応じて配置を調整しています。また、他クラスとの合同や交流をしながら活動することで、限られた人員の中でもより個々の目標に合った支援ができるよう検討しています。	クラスや職員についての調整がしやすい体制整備をすることで、より柔軟な職員配置が行えるよう検討していきます。
2	療育環境の構造化	療育の効果を上げるため、パーテーションの使用や机や椅子、使用する物の配置などに配慮しています。また、写真やカード、マカトンサインを使用することで、子どもの理解を促し、かつスムーズなコミュニケーションが行えるよう工夫しています。	より個々の特性に合った支援ができるよう、構造化の方法や効果を職員間で共有し検討していきます。
3	子どもと保護者のニーズや課題に合った支援	ニーズや課題を的確に把握し個別支援計画につなげられるよう、担任や児童発達支援管理責任者など職員が連携しています。合わせて面談等で保護者から聞き取りをすることでよりよい計画作成に努めています。実際の支援にあたっては、療育前後の職員間での打ち合わせ、必要に応じて個別療育担当者や他専門職との情報交換等を行い、より良い支援方法を検討しています。	多職種が連携し意見交換や共有をすることで、子どもと保護者にとって、より適切な支援の方法を模索していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信	今回のアンケートを通して、いくつかの項目について「知らなかった」「わからない」等のご意見をいただきました。市のホームページやエックス(旧ツイッター)での発信や当センター内での掲示や配布物を通して情報提供を行っていますが、周知されていない部分もありました。	より多くの方に必要な情報が周知されるよう情報発信の方法を検討していきます。ひまわり園をより知っていただけるよう十分な情報提供を行っていきます。